



じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1999年10月6日

NO. 13

発行責任者 楯 篤雄 〒 891-4404 屋久町尾之間 658-1
TEL/FAX 09974-7-3032 mukkuri@d1.dion.ne.jp

誰かが居て、いろんな話し声の聞こえてくる、そんな家を・・・

台風18号が過ぎ、すがすがしい秋が訪れましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。スッキリとした空気に映える屋久島も美しいですね。

通信11号に載せました、**拠点作り案の件**を、安房春牧福祉館でありました秋の集いにて、話し合いました。あいにくの台風で少人数でしたが、全員の方の賛成を頂きました。

まずは、**集いの場として**
在宅障害児者の為のデイケア - , デイサ - ビス, の場として
木工品, 焼き物, 野菜等の販売
グリーンコ - プのアンテナショップ (グリーンコ - プ商品を置く店舗) との連携や
豆腐屋さん等

を併設してお店を作れば、人の働く場となり、障害者雇用も充分可能になるのではないかと。

いつもそこに行けば、誰かが居て、いろんな話し声の聞こえてくる、そんな家を創りましょう。いつの日か健全や障害と云う区別も無くなり、誰でもが安心して暮らせる屋久島が実現する、その出発点としたいと思えます。きっと様々な問題点や困難な壁も立ちにはだかると思いますが、まずは腰を上げてみようと思えます。(楯)

今後の仕事

建物、設備、の設計、見積りを出す。

資金を集める手段を考える

行政に相談する

各種助成金の申請をする

寄付金を募る

じゃがいもを大量に植える 等

設計内容を素人の方が参加しやすい工法にして、ボランティアを募り、人件費を減らす。
建材、材木、設備、備品。等、物の寄付も募る。



デイケア - , デイサ - ビス, 面では、多くの人の手が必要になってきます。また何をすれば良いのかも、これから勉強が必要になって来ます、手伝ってくれる方々も募ってゆきます。
アドバイスして下さる方も募ります、宜しく願いいたします。

木工作品作りをします！是非ご参加を！

鹿児島市で毎年11月23日に「命の祭り」という祭りがあります。今年は「じゃがいものおうち」として出店してみようと思えます。じゃがいものおうちブランドの木工作品開発も兼ねて木工作品作りをしたいと思えますのでご都合のつく方は是非ご参加下さい。(弁当、アイデア持参)

日時 11月7日(日) & 11月14日(日)
AM 9:00 ~ PM 4:00

(午前、午後のみ参加もOKです)

場所 屋久町尾之間 楯宅

< 寄付金報告 >

この度「デフパペットシアタ - ひとみ実行委員会」(代表 古居智子)様より御寄付を頂きました。チケット1枚1枚から生まれたお金、大切にに使わせて頂きます。ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

9月23日 秋の集いの時、岳南中ボランティアクラブの岩川梓さん・竹山美久さんのお二人に子守りの手伝いを頂きました。ありがとうございました。

熊毛福祉大会で佐々木さん発表予定

来る10月19日、安房総合センタ - にて「熊毛郡福祉大会」があります。上屋久町を代表して佐々木澄江さんが発表されます。題は、「知的障害児を持って学んだこと」です。



じゃがいも植え付けをします！

< 予 定 表 >

期 日	晴 れ の 時	雨 の 時
10月23日 (土)	午前9時から(午前中の予定)・・・畑の石拾い・施肥 現地集合：尾之間の畑 (分からない人は尾之間自然休養村管理センターに集合)	中 止 10月31日に変更
10月31日 (日)	午前9時から・・・種芋切り(尾之間：松田宅 電話7-2091) (10/23,雨の場合、半分は石拾い・施肥) ----- 昼食(松田宅で芋煮をします)・・・おにぎり, コップ, お椀持参 ----- 午後, 全員で植え付け (屋久町立神山小学校二年学級PTA・児童が終日参加予定)	中 止  11月3日に変更
11月 3日 (水)	10月31日, 雨の場合, 同上	

決議決済の方法について

『決議決済の方法がない当分の間, 年間の行事予定の変更や追加があるとき, また会の行事や行動としてお金が必要になったときなどは, **通信でその旨お知らせ**する。異議がない場合は認められたものとする。』と先日の秋の集いで合意しました。

極力通信でお知らせしたいと思いますが, それでも間に合わないようなときは, 事務担当メンバーに任せて貰うことになりました。

このことについて御意見がありましたら連絡して下さい。いつも書きますが, ”じゃがいものおうち” はみんなの会です。みんなですてきな会に育てていきましょう。(松田)

みんな幸せになれる！！

ボランティアとしてじゃがいものおうちの活動に参加している岳南中3年・日高恵美さんに聞きました。

Q じゃがいものおうちで活動してどんなことを感じていますか？

A 周りの障害を持っている方々はとてもいい人達ばかりで, みんな1人1人が一生懸命, 素直に生きている方々ばかりでした。
今までの私は障害者の方々をなにか「ちがう目」で見えていたと思います。しかし, 今なら, 素直な気持ちで, 障害者の方々と話せるし, 活動もできるようになりました。
それに, 私も少しは, 人の気持ちも考えられるようになったと思います。
(じゃがいものおうちの活動に参加して) 私は, 「広い心」を持ちたいと強く感じるようになりました。

Q 活動を通じて学んだことは何ですか？

A 「みんな幸せになれる！！」と言うことです。
私はこのじゃがいものおうちで活動できてとても幸せです。
そして, いっしょに活動している障害者の方々もいつもニコニコされていて, 今の生活にとっても幸せを感じていると思います。

人と接することはとても大切です。人はいっしょに笑って, いっしょに泣いて, はじめて解り合えるのだと思います。

自分から何かをやってみきゃ何もはじまりません。
そんな小さな事かもしれませんが, 私は, これまでの活動で, そんなことを考えました。そして, **これからも活動を続けたい**と思います。